

photo_Satoshi Nagare
text_Seishi Isozaki
edit_RCKT/Rocket Company

29 六本木ヒルズレジデンス

MORI LIVINGへの招待

進化を続ける“文化都心”の中で暮らす人々の
安全・安心を支える、縁の下の力持ち

「活気に満ち溢れた街の雰囲気、これほど肌で感じられるレジデンスはありません。それでいて、一歩中に入れば、街の喧騒が嘘と思えるほど、静かで落ち着いた居住空間が広がっているのも大きな魅力だと思います」。そう話すのは、六本木ヒルズレジデンスの松永 豪レジデンスマネージャー。「過去なされる際、『また戻ってきたい』と仰る方も多くいらっしゃいます」と、笑顔を見せる。

多種多様な人・モノ・コトが交錯する国際都市・東京の中心部で、新しいライフスタイルを提案するMORI LIVING。そのフラッグシップとして2003年に誕生した六本木ヒルズレジデンスは、オフィスや商業施設のほか、映画館や美術館などが揃う六本木ヒルズの一部だ。“文化都心”として創られた街の中に住むという、ユニークかつ上質な体験を提供するこのレジデンスは、開業から15年が経った今なお、進化し続ける街とともに成長を続けている。

レジデンスを取り巻く環境や設備の特別感もさることながら、ホスピタリティに満ちた、きめ細やかな

サービスへの評価も高い。それを可能にしているのは、人と人との綿密なコミュニケーションだ。ハード・ソフトの両面から運営を支える、200名を超えるスタッフが連携を取って業務に当たるのはもちろんのこと、ご入居者との日常的なやりとりから個々のニーズを読み取る努力も欠かさないと、松永さん。加えて、週に1回、ドアマンや警備、設備、清掃など、フロント以外のスタッフも交えた全体ミーティングを行い、日々レジデンスで起こったこと、感じたことを、全員で共有するようにしているという。「時にお叱りを受けることもあるのですが、そうした場合も直ちに情報を共有します。そういった日々の細かい取り組みの積み重ねが、サービスの向上、ひいては皆様の安全・安心へと繋がると考えています」

高層レジデンスにおける安全・安心な生活に欠かせないもう一つの柱が、堅固な防災体制だ。東日本大震災発生時に冷静かつ的確な対応ができたのは、日頃の訓練のため。「近年はさらに気持ちを引き締め、常に問題意識を持って、建物・設備の点検

や防災訓練に臨むようになりました」と、設備マネージャーの大田 剛さんは明かす。「定期的にフロントとも共同で訓練を実施するほか、各設備の更新やメンテナンスを適切なタイミングで行いながら、各戸に設置された家電の修理やパーツ交換などにも対応しています。こうしたご依頼はフロントを経由するので、フロントスタッフとの密な連携は欠かせません」と、コミュニケーションの重要性を強調する。防災訓練では、消防署との協議を重ね、高層住宅ならではの避難方法を確立。消防署が主催する「自衛消防訓練審査会（消防技術を競う大会）」にも毎回出場し、昨年は優勝を果たしたそうだ。

東日本大震災を経験したことで、有事には人々の心の不安を和らげることも必要だと痛感し、“共助”の重要性を再認識したという人。「顔見知りのスタッフや、ご近所の方と少し話をするだけでも、皆様の表情が和らいでいくのがわかりました。いつでも私たちスタッフの顔を見れば、お客様が安心する。そうした存在でいたいと思います」

MORI LIVING ROPPONGI HILLS RESIDENCE

六本木ヒルズレジデンス

所在地: 東京都港区六本木 6
丁目 12-1~4 / アクセス:
六本木駅 徒歩約 5 分 [地下
鉄 日比谷線・大江戸線] 麻
布十番駅 徒歩約 9 分 [地下
鉄南北線・大江戸線] / サ
ービス: 24 時間フロントサービス (バイリン
ガル対応)、ドアマン & ボーダーサービス、健
康相談室、室内設備メンテナンス (一部有料)、
ハウスキーピング (有料) / 備考: トランクル
ーム・駐車場あり (空き状況により利用可、有
料)、ペット可 (飼育できるペットに制限あり)、
棟内の「六本木ヒルズSPA」を利用可、ビュ
ーラウンジ、ゲストルームあり (有料)

お問い合わせ: 森ビル株式会社 住宅事業部
電話: 0120-52-4032 www.moriliving.com



〈警備スタッフ〉
阿部真直

〈設備スタッフ〉
石毛 亮

〈駐車場スタッフ〉
真嶋貴史

〈フロントスタッフ〉
桜井華月

〈フロントマネージャー〉
松木真治

〈レジデンスマネージャー〉
松永 豪

〈設備マネージャー〉
大田 剛

〈健康相談室 院長〉
林 哲朗

〈六本木ヒルズパトレンナー〉
相澤大志

〈六本木ヒルズパ フロントスタッフ〉
酒多 星

〈六本木ヒルズパシェフ〉
北条 義

〈清掃スタッフ〉
後藤好純

〈清掃スタッフ〉
石田清美

24時間バイリンガル対応のフロントサービス

郵便や宅配便、タクシーなどの手配からホテル・レストランの予約、各種情報提供まで、ご入居者の日常をさまざまな側面から柔軟にサポート。一人ひとりに合わせた、きめ細やかなサービスを提供する。



設備スタッフが日々の「困った」に迅速に対応

専属の設備スタッフによる継続的な建物の維持管理のほか、水回りや空調、備え付けの家具・家電の不具合といったトラブルにも個別に対応。フロントへの一報を受けて部屋に急行し、最善の処置を施す。



MORI LIVINGならではの特別なサービスをご紹介します。

スタッフが丸となって、『六本木ヒルズレジデンス』で暮らす人々をあらゆる角度からサポート。上質で快適な暮らしを約束する。

災害時に役立つエマージェンシーキットを配布

東日本大震災後、ライフライン復旧までに役立つエマージェンシーキット（緊急用備品）を各戸に配布。追加で購入できる震災備品セットも用意。各エレベーターにも震災備品セットを設置し、万が一に備えている。



地震や火災を想定した防災訓練を定期的実施

災害時の避難誘導を担当する設備スタッフ主導で、レジデンスのスタッフや居住者を交えた避難訓練を実施するほか、六本木ヒルズ全体としての防災訓練を年1回実施。安全・安心な街づくりを目指す。



大学病院と連携して、居住者の健康維持に貢献

東京慈恵会医科大学附属病院と連携し、日常のちょっとした体調不良や怪我から緊急時にいたるまで、万全の体制でサポート。バイリンガル対応の看護師が24時間体制で常駐し、健康相談に応じるのも心強い。

